



“地域のことは地域で考えよう”

2014年3月25日

おきぎん県内景況・速報 2014年2月

—県内景況は、拡大している—
2013年9月以降5ヵ月ぶりに上方修正

■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。
百貨店売上高は前年同月を上回る。
家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数も上回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。
生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回る。
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。
観光施設入場者数は前年同月を下回る。

■企業倒産

件数は前年同月と同数、負債総額は下回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2014年2月分)

◎2014年2月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

2月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース」「既存店ベース」ともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は食料品や雑貨などが好調で前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は太陽光パネル需要などにより前年同月を上回り、新車販売台数も消費税増税前の駆け込み需要などにより前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は、沖縄県やその他公共的団体発注による大型工事などにより前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を上回りました。

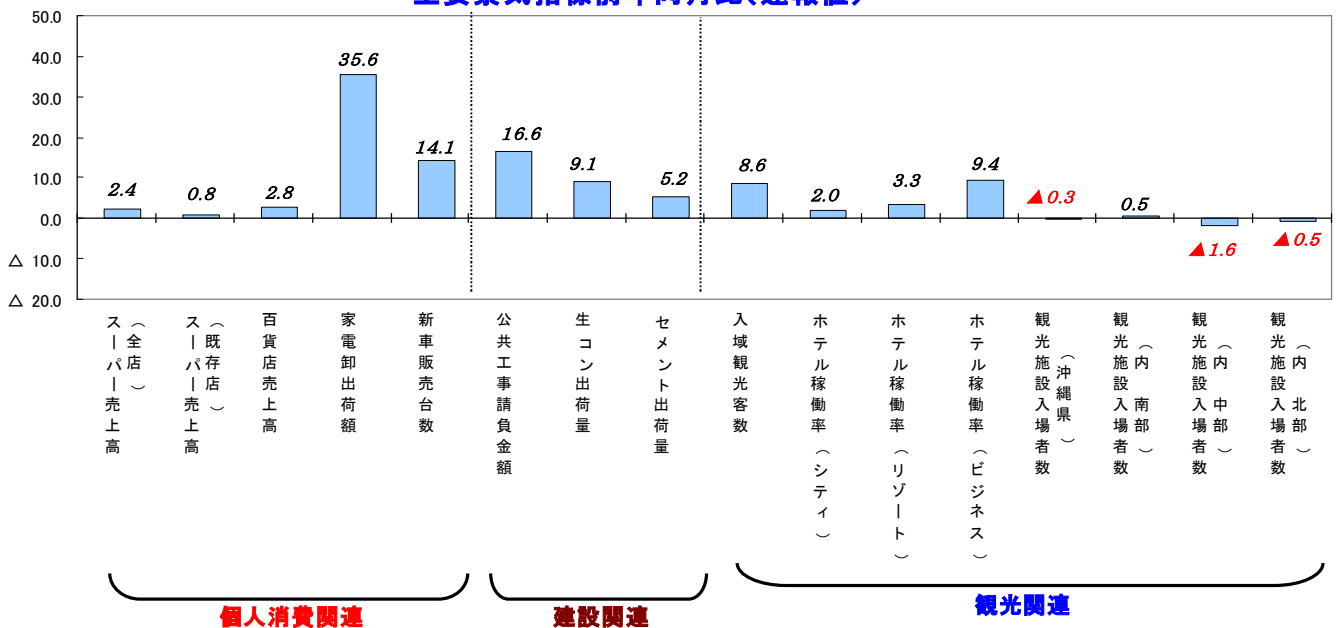
観光関連では、入域観光客数は17ヵ月連続で前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回りました。観光施設入場者数は前年同月を下回りました。

このような状況に鑑みて、建設関連や観光関連で堅調な動きが続く中、個人消費においても耐久消費財等への需要に強さが増していることなどから「**県内景況は拡大している**」と景気判断を上方修正しました。

(2013年9月以降5ヵ月ぶりに上方修正)

主要景気指標前年同月比(速報値)

(単位: %、ポイント)





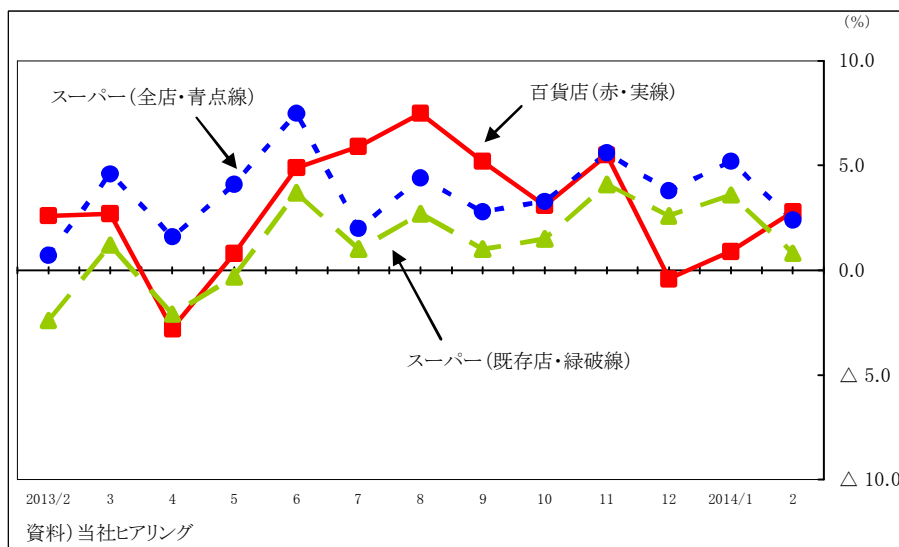
■個人消費: (良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高も前年同月を上回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店売上額
	全店	既存店	
2013/2	0.7	△ 2.4	2.6
3	4.6	1.2	2.7
4	1.6	△ 2.1	△ 2.8
5	4.1	△ 0.3	0.8
6	7.5	3.7	4.9
7	2.0	1.0	5.9
8	4.4	2.7	7.5
9	2.8	1.0	5.2
10	3.3	1.5	3.1
11	5.6	4.1	5.5
12	3.8	2.6	△ 0.4
2014/1	5.2	3.6	0.9
2	2.4	0.8	2.8

注)前年同月比



2月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は、「全店ベース(前年同月比 2.4%増)」が19ヵ月連続で前年同月を上回りました。新規店舗の出店効果などにより、ウェイトの高い「食料品(同 1.1%増)」や「家庭用品(同 9.8%増)」が前年同月を上回りました。

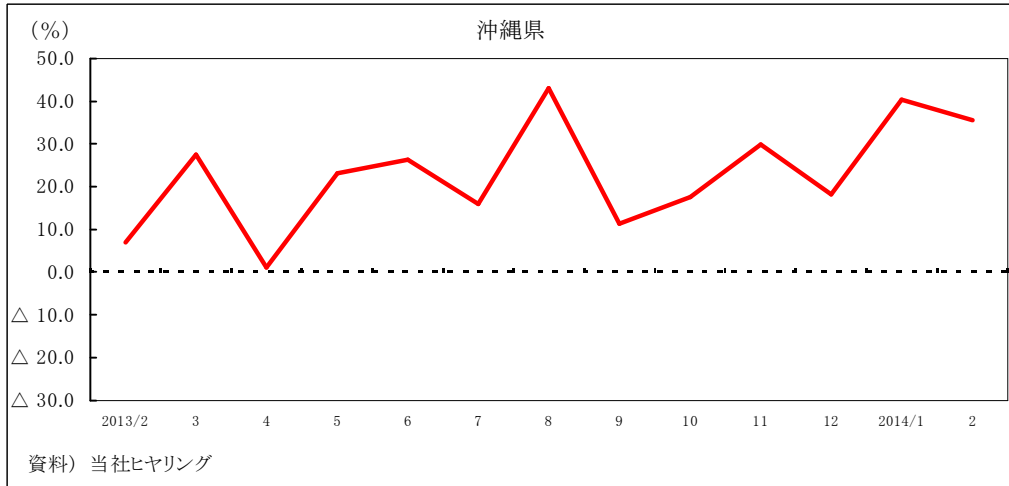
「既存店ベース(同 0.8%増)」では9ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同 0.8%減)」は、旧正月(旧暦1月1日)の時期が昨年(平成25年2月10日)よりも今年(平成26年1月31日)は早く、需要が1月に前倒しとなったことから前年同月を下回りました。「衣料品(同 1.5%減)」は、年末の気温低下により冬物衣料の需要が12月に集中したほか、天候要因により春物衣料の需要が1月にシフトしたことなどから売上が伸び悩み、前年同月を下回りました。一方、家電を含む「家庭用品(同 9.5%増)」はエアコンや冷蔵庫、洗濯機などの白物家電の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、食料品や雑貨の売れ行きが好調で、2ヵ月連続で前年同月を上回りました(同 2.8%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 1.0%増)」は、新規ポイントセールや改装直前セールの開催などにより、主力商品の「婦人服(同 1.3%増)」や「紳士服(同 2.1%増)」、「子供服(同 3.0%増)」の売上が増加し、前年同月を上回りました。「身の回り品(同 4.3%増)」は、新規セールの開催や食料品催事の集客効果などにより前年同月を上回り、「雑貨(同 5.6%増)」も、改装直前セールなどにより売上が増加し、前年同月を上回りました。「食料品(同 4.3%増)」は、昨年3月に開催した食料品催事を、今年は2月に開催したことなどから需要が増加し、前年同月を上回りました。

②家電卸出荷額…太陽光パネル需要や消費税増税前の駆け込み需要などにより前年同月を上回る。

単位: %

	沖縄県
2013/2	7.0
3	27.5
4	1.1
5	23.2
6	26.3
7	15.9
8	43.0
9	11.3
10	17.6
11	29.9
12	18.2
2014/1	40.4
2	35.6



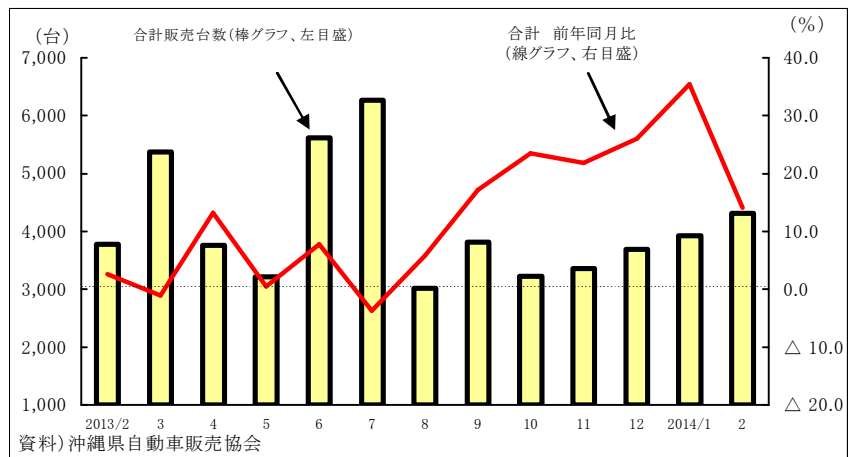
注) 前年同月比

家電卸出荷額は、継続的な太陽光パネル需要や消費税増税前の駆け込み需要などにより、13 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 35.6%増)。品目別でみると、「太陽光パネル(同 55.5%増)」は、2012年7月1日にスタートした「再生可能エネルギーの固定買取価格制度」の影響などにより需要が増加し、前年同月を上回りました。「エアコン(同 54.1%増)」は、新築物件向け(アパート、ホテル、住宅等)の需要が増加していることなどから、前年同月を上回りました。「冷蔵庫(同 77.5%増)」や「洗濯機(同 40.8%増)」も家電量販店などにおいて在庫確保の動きが活発化していることから、前年同月を上回りました。また、アナログ放送終了(2011年7月24日)以降、需要低迷が続いていた「テレビ(同 72.9%増)」も7ヶ月連続で前年同月を上回りました。

③新車販売台数…消費税増税前の駆け込み需要などにより前年同月を上回る。

単位: 台、%

	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2013/2	3,776	2.6	7.4	6.6	2.7
3	5,377	△ 1.1	△ 7.9	△ 6.4	4.5
4	3,763	13.2	△ 7.6	30.2	8.7
5	3,217	0.5	13.2	△ 3.8	△ 2.0
6	5,620	7.8	30.9	27.0	△ 13.4
7	6,267	△ 3.7	△ 7.8	△ 2.4	△ 9.2
8	3,023	5.8	△ 14.3	2.5	6.6
9	3,808	17.2	4.2	24.1	14.6
10	3,226	23.5	37.2	52.4	12.6
11	3,356	21.9	46.3	12.8	16.9
12	3,689	26.1	51.9	24.9	23.7
2014/1	3,929	35.4	54.4	61.6	24.4
2	4,307	14.1	43.0	△ 7.2	17.1



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で4,307台となり、7ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 14.1%増)。新商品(新車種、モデルチェンジ等)需要や、消費税増税前の駆け込み需要などにより「普通乗用車(同 43.0%増)」が6ヶ月連続、「軽乗用車(同 17.1%増)」が7ヶ月連続で前年同月を上回りました。一方、「小型乗用車(同 7.2%減)」は、レンタカー需要が今年は1月に一部前倒しとなったことなどから、7ヶ月ぶりに前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

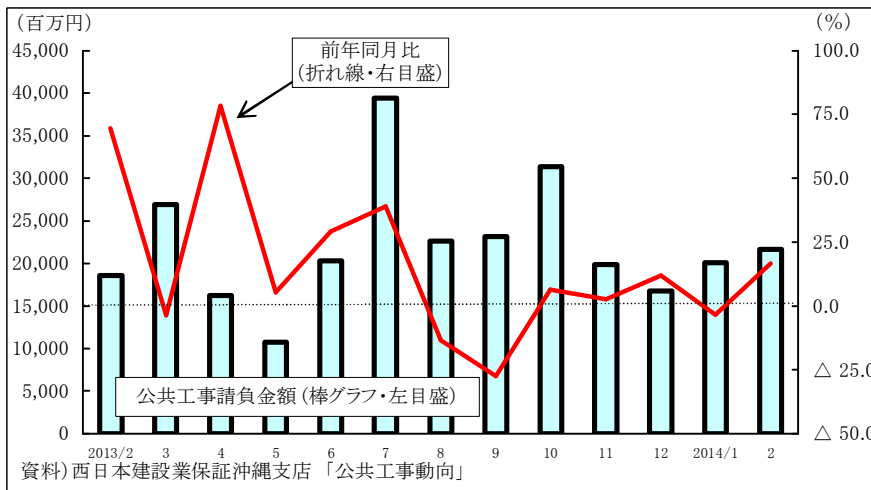


■ 建設関連: (良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

単位: 百万円、%

	請負金額	前年同月比
2013/2	18,588	69.6
3	26,905	△3.6
4	16,255	78.3
5	10,742	5.3
6	20,318	29.2
7	39,391	39.0
8	22,626	△13.4
9	23,182	△27.5
10	31,327	6.4
11	19,880	2.5
12	16,792	12.0
2014/1	20,056	△3.4
2	21,681	16.6



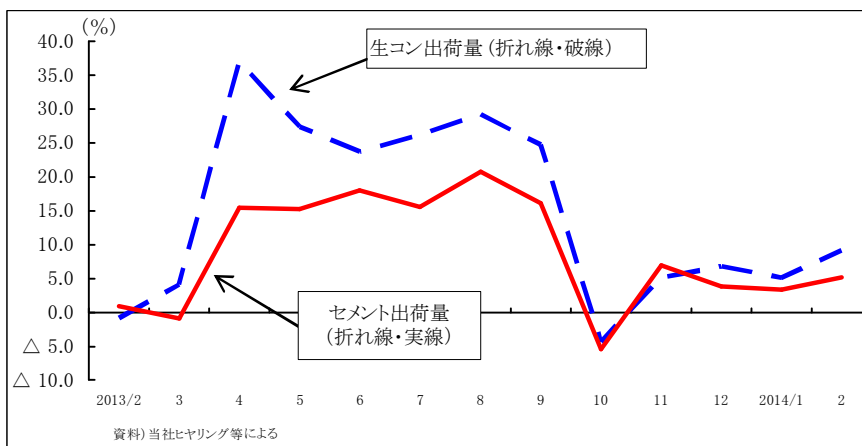
2月の公共工事請負金額は、前年同月比16.6%増の216億8,100万円となりました(2ヵ月ぶり増)。

発注者別でみると、「国(同1.2%減)」は前年の名護市でのトンネル工事や那覇港臨港道路関連工事の反動、「独立行政法人等(同66.5%減)」は国立大学関連工事の反動、「市町村(同12.3%減)」は那覇市内市営住宅の建替工事の反動などで下回りました。一方、「沖縄県(同28.5%増)」はうるま市の沖縄クラウドデータセンター新築工事など、「その他の公共的団体(約4.3倍)」は教育施設の建替工事などにより前年同月を上回りました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

単位: 前年同月比 (%)

	生コン	セメント
2013/2	△0.8	0.9
3	4.1	△0.9
4	36.9	15.4
5	27.4	15.3
6	23.7	18.0
7	26.2	15.6
8	29.3	20.7
9	24.7	16.1
10	△4.4	△5.5
11	5.1	6.9
12	6.8	3.8
2014/1	5.1	3.4
2	9.1	5.2



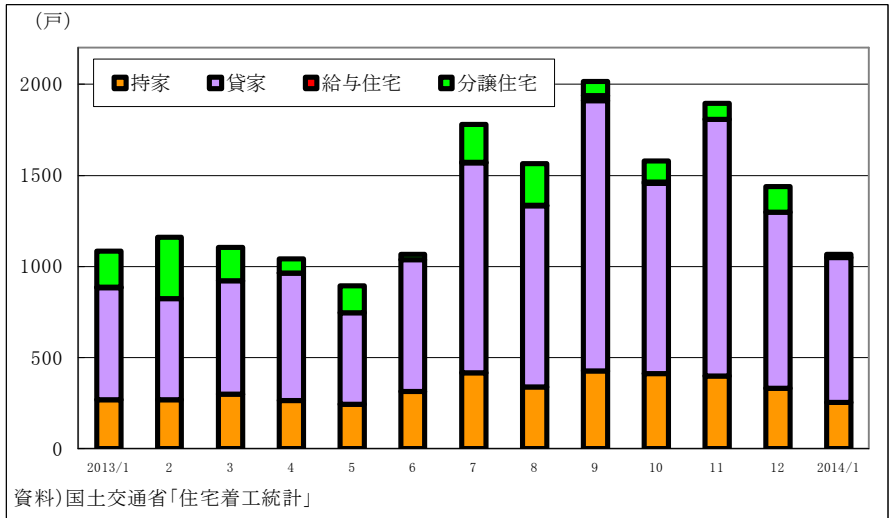
(注) セメント出荷量については速報値につき、確定数値ではない

建設資材関連では、生コンの出荷量は9.1%増加し、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より10.3%減少した一方、民間工事向け出荷は23.4%増加しました。セメントの出荷量は5.2%増と4ヵ月連続で前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資(1月分) …着工戸数は前年同月を上回る。

単位:戸、%

	着工戸数	前年同月比
2013/1	1,083	9.1
2	1,162	62.5
3	1,103	51.1
4	1,041	△2.0
5	893	△23.3
6	1,068	11.9
7	1,777	32.2
8	1,565	28.8
9	2,014	72.4
10	1,580	29.2
11	1,895	60.1
12	1,437	49.5
2014/1	1,065	△1.7

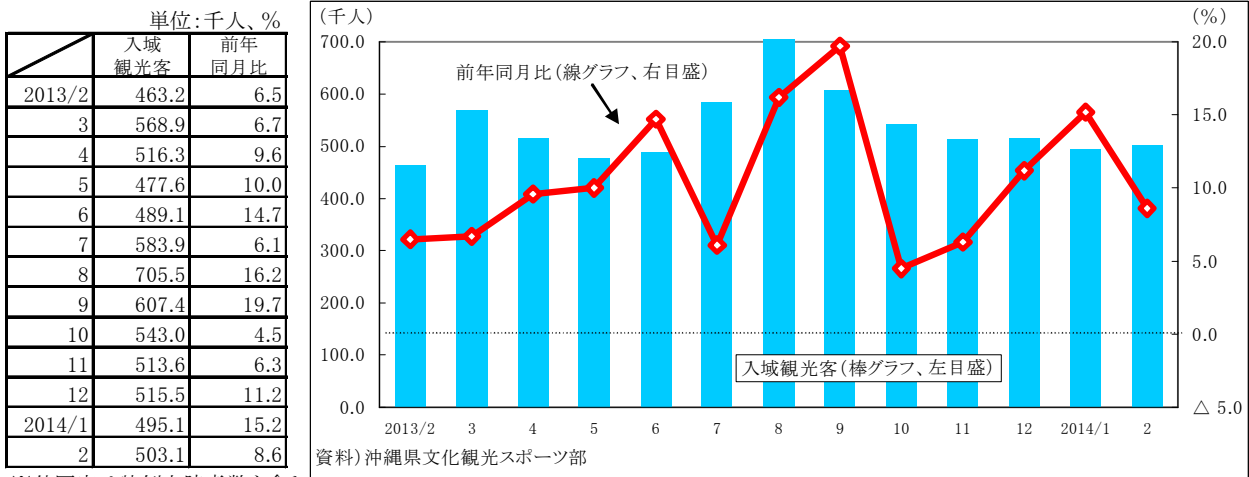


新設住宅着工戸数(1月)は、全体で 1,065 戸となり、ウエイトの高い「貸家(同 28.8%増)」が前年同月を上回ったものの、「分譲住宅(同 91.4%減)」や「持家(同 4.5%減)」などが全体を押し下げ、前年同月を 1.7%下回りました。



■観光関連： (良い)

①入域観光客数…17ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は特例上陸者数を含む

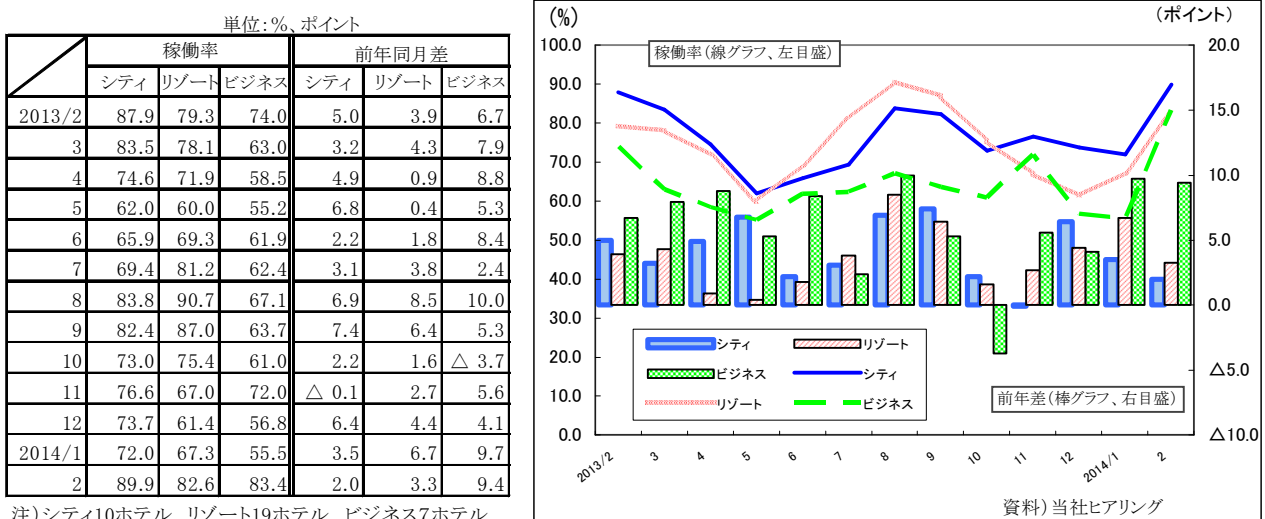
2月の入域観光客数は、39,900人多い503,100人(前年同月比8.6%増)となり、17ヵ月連続で前年同月を上回りました。

内訳をみると、「国内客(同4.6%増)」は全国的な大雪などの影響を受け一部地域では前年同月を下回ったものの、継続的なLCC就航・新石垣空港開港効果に加え、2月のプロ野球キャンプ効果などにより4ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同80.8%増)」は、44,300人と7ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充(吉祥航空1月末より上海路線週4便就航)、春節後半の旅行需要、尖閣問題等で落ち込んだ前年の反動などにより、各地域から増加しました。「中国本土(同169.2%増)」「韓国(同77.9%増)」「台湾(同57.3%増)」

※ 特例上陸者を除く2014年2月実績=全体人(同8.2%増)、外国客41,300人(同74.3%増)、国内客は変わらない。

②ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。



注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

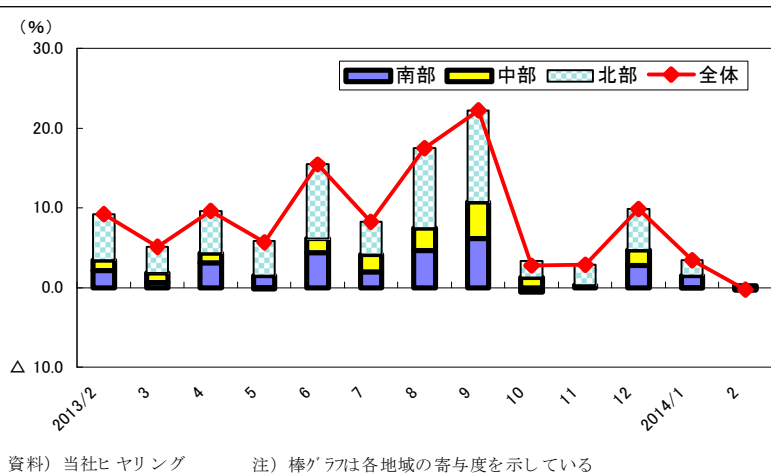
県内ホテル稼働率は、シティホテルが89.9%と2.0ポイント上昇(3ヵ月連続)、リゾートホテルが82.6%と3.3ポイント上昇(14ヵ月連続)、ビジネスホテルが83.4%と9.4ポイント上昇(4ヵ月連続)しました。

◎観光施設入場者数…16ヵ月ぶりに前年同月を下回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2013/2	9.2	5.5	9.6	12.1
3	5.1	1.5	8.6	7.4
4	9.6	7.8	8.1	11.7
5	5.7	3.7	△1.1	9.7
6	15.4	10.6	14.5	19.9
7	8.2	5.9	18.6	7.5
8	17.5	13.2	21.2	19.4
9	22.2	17.4	38.6	21.9
10	2.7	△1.4	10.2	4.6
11	2.9	0.6	0.05	6.1
12	9.9	6.5	14.4	11.6
2014/1	3.4	4.0	△0.1	4.0
2	△0.3	0.5	△1.6	△0.5

*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設

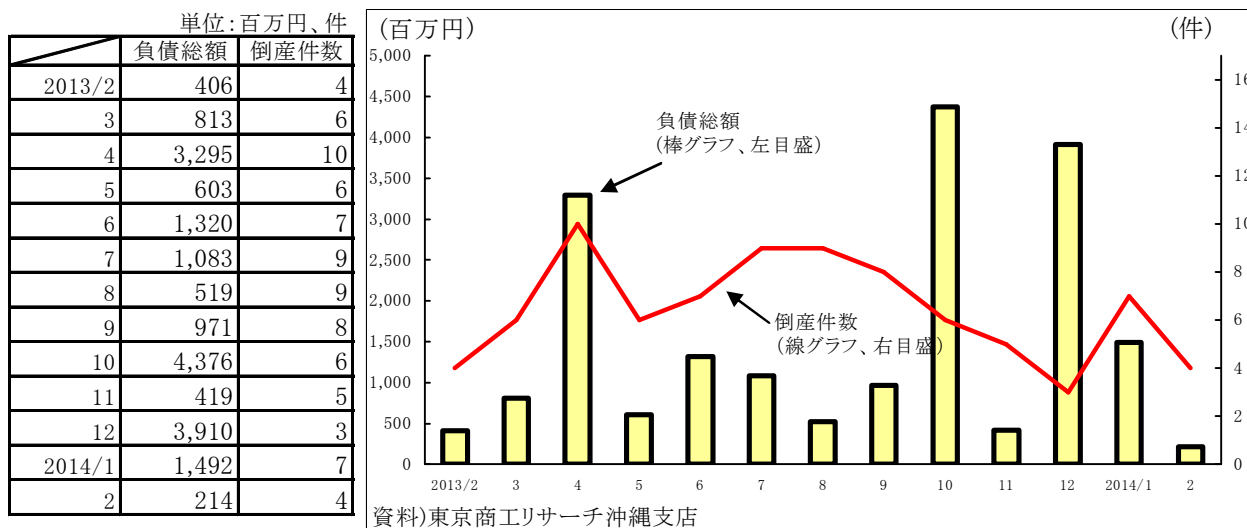


観光施設入場者数は、全体で前年同月より0.3%減少(16ヵ月ぶり)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同0.5%増(4ヵ月連続)と前年同月を上回りましたが、中部は同1.6%減(2ヵ月連続)、北部は同0.5%減と16ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。



■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数は前年同月と同数、負債総額は下回る。

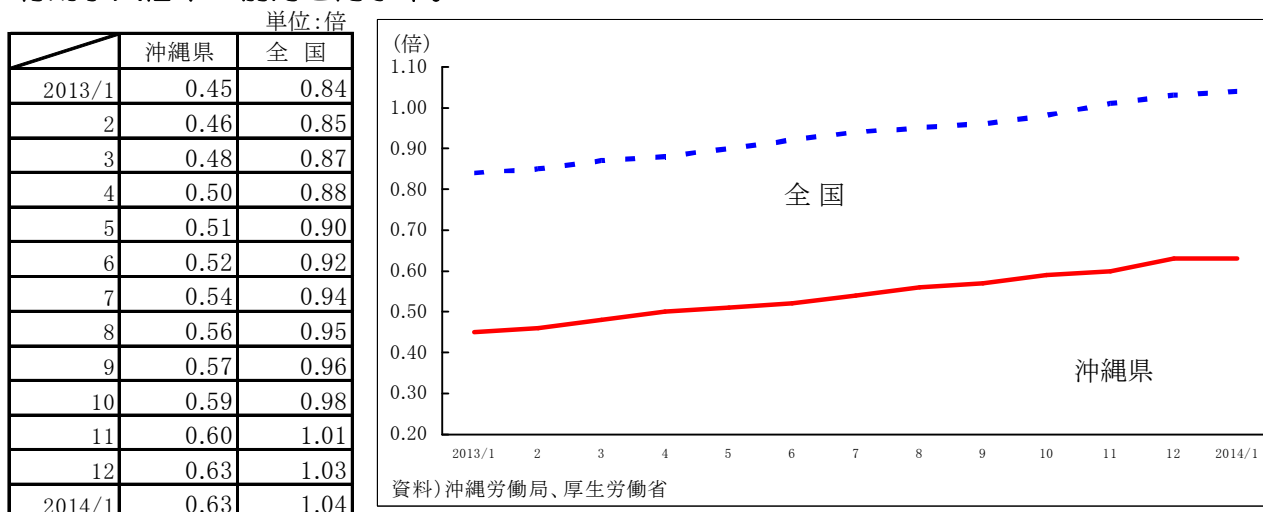


2月の**企業倒産件数**は、4件(うち、10億円以上の大型倒産が0件、1億円以上の大口倒産0件)発生し前年同月と同数となりました。負債総額は2億1,400万円と47.3%下回りました。



【参考】雇用関連: (ふつう)

有効求人倍率…前月と同水準。



注) 季節調整済
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ (X-12-ARIMA) による

1月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比0.2%増の19,864人に対して、月間有効求職者数(同上)は同0.2%増の31,480人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.63倍となり前月と同水準となりました。完全失業率(原数値)は前年同月より1.8ポイント低下し、4.8%となりました。